



主な内容



3~6ページを、抜き取ってご使用ください

ごみ収集日程表(4月~9月)
ごみの分け方・出し方

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp

◆「ごみ収集日程表」と「ごみの分け方・出し方」を3~6ページに掲載しています。抜き取ってご使用ください。



給水車による飲料水の配給



自衛隊員一丸でがれきを除去



がれきの中、行方不明者などを搜索

3.11 東日本大震災

あの目を忘れない。

救える命。不安と焦りの中、時間との戦い

平成23年3月11日午後2時46分、三陸沖でマグニチュード9.0の大地震が発生。被害は、想像を絶するものでした。

12日には、大規模震災災害派遣命令を受け、久居駐屯地から陸路で宮城県岩沼市に向けて出発。途中の道路は、いくつも寸断された箇所がありました。20時間以上かかり現地に着いたのは、13日の未明でした。まだ薄明りの明け方でしたが、そこは、目を疑うような光景が広がっていました。何もかもが流され、海水が一面を覆っていました。今でも鮮明に覚えています。その場所を地図で確認すると、そこは、田んぼや畑。そんな様子は、みじんもありませんでした。あらためて津波の脅威を感じました。

現地での任務は、人命救助、行方不明者の搜索、がれきの除去。「人命救助は、72時間が一つの壁」と言われています。1人でも多くの人を助けたいとの一心で搜索しました。自衛隊員一丸で夜明けから日没まで、がれきの中を一つずつ手作業で除去しながら、行方不明者の搜索を行いました。しかし、先行きの見えない日々の搜索活動や、行方不明者がなかなか見つからないことに不安や焦りだけが募りました。



厳しい任務の中、毎日道路に応援メッセージの看板を掲げ、地域の皆さんから激励をいただいたことや、直接「ありがとう」と言われたことが、とても励みになりました。同時に、被災者の皆さんの温かさ、心の強さを感じました。

これからは皆さんの期待に応えられるよう、一層訓練、任務に励みます。

陸上自衛隊 久居駐屯地
第33普通科連隊第1中隊
尾崎 一弥 さん

東日本大震災が発生してから4年がたとうとしています。被災被害状況は、今年2月10日の警察庁の発表では、死者1万5890人、行方不明者2590人。また、避難生活を送っている人は、今なお22万8863人います(平成27年2月12日現在、復興庁まとめ)。
今号では、東日本大震災が発生した翌日には、人命救助、がれきの除去に出勤した名張市出身の陸上自衛隊員尾崎さんに、現場で活動した思いなどを伺いました。

☎ 広報対話室 ☎ 63・7402



◎掲載した写真は、陸上自衛隊久居駐屯地広報室提供